

2026年1月24日 実施

東北医科薬科大学

一般 生物



[I]

- 問1 1 ⑧ 2 ⑥ 3 ① 4 ⑦
 問2 5 ⑨ 6 ① 7 ⑩ 8 ⑥
 9 ② 10 ⑦ 11 ③
 問3 12 ② 13 ⑦ 14 ⑩

[II]

- 問1 15 ⑦ 16 ⑩ 17 ① 18 ⑥
 19 ⑤ 20 ③ 21 ⑨
 問2 22 ⑦
 問3 (1) 23 ⑥ (2) 24 ⑦ (3) 25 ④ (4) 26 ②

[III]

- 問1 27 ① 28 ④ 29 ⑥ 30 ⑨ 31 ⑦
 問2 (1) 32 ③ (2) 33 ③
 問3 (1) 34 ④ 35 ① 36 ⑤
 (2) 37 ② 38 ① (①と②の両方を選んでも正解の可能性あり)

【講評】

大問Ⅰ 新型コロナウイルス感染症の予防接種に用いられている mRNA ワクチンを題材として、免疫に関する知識問題が出題された。mRNA ワクチン自体は新規性の高いテーマであるが、求められている知識は一般的な免疫のしくみに関するものがほとんどであった。焦らずに文脈に合わせて適切なものを選択肢から選び、しっかりと得点を重ねておきたかった。

大問Ⅱ 転写調節のしくみに関する知識問題とレポーター遺伝子を用いた実験考察が出題された。知識問題は標準的なものであったのでしっかりと得点しておきたい。考察問題は2ページ分の説明文と実験結果を読み解き、妥当な解釈を与える必要があったうえ、考察文を正誤の組合せで解答をする形式であったため、苦勞した受験生が多かっただろう。

大問Ⅲ 聴覚のしくみに関する知識問題と難聴患者の検査データを用いた考察問題であった。知識問題は基本的なものばかりだったので確実に得点しておきたい。考察問題では、なじみのない用語が多く登場したものの、求められている思考自体はそれほど複雑ではなく、選択肢も限られていた。ある程度読解や考察の練習を重ねてきた受験生であれば、正解にたどり着くのは難しくはなかったと期待する。

得点目標は6割5分としたい。